

たつのまち
議会
だより



編集・辰野町議会広報編集委員会
発行・辰野町議会
発行日・令和3年8月1日



辰野町議会



Center of Japan
36° 07' 00" N 138° 07' 00" E

日本のど真ん中
信州辰野町

辰野町議会新体制決まる 令和3年度補正予算可決

正副議長・各委員長挨拶	2
町内小中学校のあり方	3
6月定例会・臨時会報告	4
委員会レポート	6
一般質問	8
街かどNEWS	13
町民の声	14



横川川 (いいまちたつの知らせ隊)

新しい議会体制がスタート

5月10日に開催された臨時会において正副議長選挙が行われ、議長に岩田清議員、副議長に向山光議員が選出されました。常任委員会ほか各委員会の正副委員長も決まり、新しい体制でスタートしました。

議長就任あいさつ 岩田 清

議会構成の編成替えで再任されました。前期2年では、第4次議会活性化委員会を立ち上げ、直面している諸課題に取り組んでまいりました。コロナ禍で実現出来ない企画もありましたが、「中学生議会」や「辰野高校生との懇談会」、「地域へ出向いてのタウンミーティング」など若者や町民の声を現場で聴く機会を得ました。町の施策に反映できた提案もあり一定の成果を感じています。後期2年では更なる改革を進める所存です。よろしくお願い申し上げます。



副議長就任あいさつ 向山 光

議会は、町政をチェックし、提案していくという大事な役割を担っています。辰野町議会は現在、2人の欠員になっています。議員のなり手不足解消は大きな課題であり、危機感をもって議会の活性化・改革を進めていきます。町民の皆様にご理解をいただくことが第一歩です。町民の皆様のご意見をお聞きしながら、議員一丸となって取り組むとともに、議会の機能強化のために研鑽を重ねてまいります。



総務産業常任委員長 池田 陸雄

当委員会の所管は、総務、財政、企画、防災、農林、商工、観光、建設、上下水道他と多岐にわたります。辰野町の将来を見据え関係団体や町民のお話を伺い、ソフト・ハード両面から「改善、提言、検証」を町行政と連携しながら進める委員会とします。委員共ども「全集中」で活動いたしますので、よろしくお願いいたします。

福祉教育常任委員長 津谷 彰

社会福祉、保健衛生、環境保護及び教育を所管とする当委員会における重点課題は山積みです。高い高齢化率を推移する辰野町の現状を見据えて、移動手段や生活支援などの地域福祉の充実や、教育における調査・研究を進め、町行政と連携し、住みたいまち、住み続けたいまちづくりの更なる構築のために委員会一丸となって活動してまいります。

議会運営委員長 舟橋 秀仁

議会運営委員会は、議会をスムーズに運営するために話し合いを行う委員会です。定例会の日程や進行手順、議会に関するルールについての話し合いを行っています。日頃は仔細な事案への対応が多いですが、今後は町行政と協力して、議員もペーパーレスの研究を進め、新たなチャレンジもしていきます。議員歴の浅い私ですが、他の自治体の事例も勉強し、より開かれた議会を目指して推進してまいります。

町内小中学校のあり方

議論は第2段階へ

=町長、川島小学校の存続を断念=

学級規模は「概ね10人」

小中学校あり方検討委員会

児童数・生徒数減少が続く中、2017年9月「辰野町立小・中学校あり方検討委員会」が、将来統廃合が必要となった場合の基準として、「学級規模を概ね10人」とする提言をしました。

教育委員会はこの基準を下回っていた川島小学校について「提言通り、統合の対象として準備を進める必要がある」という見解を示しました。

一方、提言が出された直後（同年11月）に就任した武居町長は、18年3月の総合教育会議において、提言を尊重することを前提としながらも、「3年間をチャレンジ期間として、存続に向けて徹底的に挑戦させてほしい」と表明しました。

移住者増加も児童数増加傾向に転じず 3年間のチャレンジ

町長の「移住定住を促進し、児童数を増加傾向に転じる」という方針を受けて、町では「川島小学校の将来を考える連絡会議」の設置、「長野県移住モデル地区・川島区」の認定を受けるなどしました。また、地域の皆さんによる様々な活動や放課後の子どもの居場所づくりなど、官民で様々な取り組みが行われました。空き家バンク制度を利用した移住では高い実績をあげました。しかし、今後の児童数を増加傾向に転じる状況までには至りませんでした。

校舎併設型の小中一貫校、各校キャンパス化 町長、構想（私案）を示す

その3年のチャレンジ期間が満了することから、今年1月の総合教育会議において、町長は「校舎併設型の小中一貫校を設置し、4小学校をキャンパス化する」という構想（私案）を発表しました。

町長はこの構想に関して、2月の総合教育会議を経て、4月に改めて考え方を示すこととしました。

この私案に対しては、地元紙への投稿も多くあり、各議員へも様々な意見が寄せられ、自主的な学習会も開催されました。

私案撤回 議論は新たな段階へ

4月の総合教育会議で、町長は「体制、予算などの面から実現困難」などとして、私案を撤回し、川島小の存続も断念せざるを得ないと表明しました。

町議会では、これまで多くの議員が一般質問でこの問題について取り上げてきました。



総合教育会議

今後の課題

川島小学校をどのように統廃合していくのかということだけでなく、町長が私案の中で提起したことなど、様々な課題があります。

- ① 小学校がなくなる場合の川島地区の振興をどのように図っていくのか。
- ② 町内の各小学校で児童数減少が進む中、各小学校のあり方をどのように考えていくのか。

- ③ 学校へ通いにくい子どもたちへの対応、少人数学級の長所をどのように生かしていくのか。
- ④ 川島地区にどのような「学びの場」を残すのか。

議会だけでなく、幅広い、多くの町民の皆さんによる建設的な議論がされ、合意形成されることが望まれます。

臨時会・定例会で全議案を可決

第4回臨時会 (5/10、2議案、議会役員改選等)、第5回臨時会 (5/14、2議案)、
第6回定例会 (5/31 ~ 6/16、20 議案他)

新型コロナ対策 ワクチン接種加速・支援事業補充

ワクチン接種体制補充

- 新たに町保健福祉センターで集団接種開始
7月末までに65歳以上高齢者の接種を終える見込みに。



◀ワクチン
接種会場

町民への支援

- 低所得子育て世帯への特別給付事業 (国の事業、
児童1人当り5万円給付) 1,517万円
注) コロナで収入が減った方など、給付を必要とする方は申請が必要です。
- 新型コロナ検査費用助成事業 600万円
帰省や仕事などのためにPCR検査等をする方に、1人2回まで町が費用の一部を補助。
- 学生支援事業 200万円
帰省できず、また自粛により、日々の暮らしが不安定になっている町外の大学生や専門学生等に、町内事業所が製造した食料品を支援。

事業主への支援

- ようこそ辰野へ宿泊助成事業 900万円
県内の方が認定された町内宿泊施設に泊まる場合、1回の宿泊に対して3,000円助成。(8月末まで)
- 辰野町「信州の安心なお店」推進交付金給付事業 2,000万円
町内に店舗等があり、「信州の安心なお店認証制度」を申請した飲食・宿泊事業者等に20万円給付。(県の交付金事業)



安心なお店認証マーク

その他の感染防止等

- 保育園コロナ対策環境整備 371万円
(羽北保育園トイレ改修工事ほか)
- 学校コロナ対策環境整備 247万円
(両小野小空調工事、川島小自動水栓修繕)
- 公共施設情報化推進事業 1,475万円
(庁舎Wi-Fi・LAN工事)

その他予算補正・工事契約・人事議案など

令和2年度一般会計補正予算 第17号 **可決**
補正額 4億3,785万円減額

- 問** 道路改良・舗装工事1,910万円減額の理由は。
- 答** コロナ禍による支出見直しで、区の了解を得て一部工事を1年延ばしたため。
- 問** ごみ処理手数料による収入が635万円増え、塵芥処理負担金が1,500万円減っている理由は。
- 答** コロナ禍でごみ袋の買いだめがあり、手数料収入が増となった。広域連合の経費節減、売電収入の増などにより負担金が減となったため。
- 問** 学童クラブ支援員報酬500万円減額の理由は。
- 答** 支援員17名の予定が16名しか確保できなかったため。

令和3年度一般会計補正予算 第5号 **可決**
補正額 1,635万円増額

- 問** 森林経営管理制度実施方針検討委員の構成は。
- 答** 地区代表5名、森林整備事業者3名、識見者1名。
- 問** 町道橋のPCB塗膜調査の対象数は。
- 答** 16橋で、令和4年度末までに対策が必要。



PCB塗膜調査対象 清水橋

町民体育館長寿命化工事（繰越分）契約変更

1,912万円増額

問 変更額が大きいですが、変更はどのように行っているのか。

答 町、設計者、請負業者で協議し必要なものは変更している。

問 今回の工法変更で建物の寿命が何年延びるのか。

答 屋根について当初工法では5～10年だが、変更によりそれ以上延びる。

可決



現在改修中の荒神山町民体育館

監査委員の選任

同意

任期満了等に伴い中村文昭氏（新任・平出）、矢ヶ崎紀男氏（再任・宮木、議会選出）を選任。

陳情・請願審査、意見書発議

— 少人数学級推進、教育予算増額、教育費国庫負担拡充意見書を議決 —

陳情・請願		委員会 審査結果	本会議 採決	意見書 提出
陳情 第5号	消費税5%への引き下げを求める陳情書 上伊那民主商工会 会長 鈴木 正巳	不採択	不採択	なし
	【不採択に反対 吉沢】 消費税は弱者から吸い上げて、大企業や富裕層の減税の穴埋めに使われてきた憲法違反の不公平税制だ。消費税に頼らず財源をつくる事は出来る。コロナ禍への対応として、他国の例に学び緊急に5%に減税すべきだ。 【不採択に賛成 樋口】 コロナ禍で様々な支援対策が実施されており、社会保障の財源として消費税は必要だ。将来は消費税だけでなく、他の税と組み合わせ全体で増減税を考えていかなければならないので、5%への引き下げには反対。			
陳情 第6号	消費税の適格請求書（インボイス）保存方式導入中止を求める陳情書 上伊那民主商工会 会長 鈴木 正巳	継続審査	継続 審査	なし
	【継続審査に反対 瀬戸】 制度が導入されれば、中小零細の非課税・免税業者が取引から排除され、取引するために課税業者へ転換せざるをえなくなる。登録申請すれば膨大な事務負担が生じる。コロナ禍での導入に、日本商工会議所や日本税理士連合会も反対しており、陳情を採択すべきだ。			
請願 第7号	『さらなる少人数学級推進と教育予算の増額』と『義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充』を求める意見書 採択を求める請願書 辰野町公立学校教職員組合 単組執行委員長 白井 恭子 紹介議員 山寺はる美	採択	採択	あり
陳情 第8号	日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書の提出を求める陳情 原水爆禁止上伊那地区協議会 会長 野口 俊邦	不採択	不採択	なし
	【不採択に反対 吉沢】 条約が発効し核兵器の保有や依存は、国際法違反になった。在日米軍に日本防衛の任務は無く、「核の傘」による平和は神話で道義上許されない。唯一の被爆国・日本政府こそ、ただちに調印すべきだ。 【不採択に賛成 樋口】 日本はロシア、中国、北朝鮮による北方領土、尖閣諸島、南シナ海問題等様々な危機に直面している。本来なら自国防衛だが、アメリカの傘のパワーバランスに頼る他ない。核兵器廃絶は理想だが、現実的に困難だ。			

【賛否が分かれた議案への各議員の賛否は、以下のとおり（敬称略）】

○陳情第5号・7号 （陳情賛成）吉沢、瀬戸、向山

（反対）松澤、山寺、矢ヶ崎、津谷、池田、樋口、舟橋、小澤

○陳情第6号 （継続審査賛成）松澤、山寺、矢ヶ崎、津谷、池田、樋口、舟橋、小澤

総務産業常任委員会

条例等審査

議案第16号 債権の放棄について

平成17年10月から令和2年3月までの水道料金の債権放棄を求めるもの

- ・総金額 51万5,650円
- ・件数 23件

問 徴収率は。

答 令和2年9月時点で現年97.82%、過年35.02%、合計94.08%。

問 コロナ禍で料金の支払い方法の相談件数は。

答 令和2年2件、令和3年4月まで2件、合計4件。

問 滞納について庁内関係部署との連携は。

答 各課対応の中、年4回の滞納対策会議で情報共有している。

◇意見 コロナ禍で滞納が増えないように今まで以上に利用者をフォローしてほしい。

◇審査の結果 全員一致で可決すべきと決しました。

陳情審査

陳情第5号

消費税率5%への引き下げを求める陳情書

◇賛成意見

①コロナ禍でなくても消費意欲を上げるため消費税減税が必要。

②5%に戻しても大企業等の税収増でコロナ対策等に使える財源は生み出せる。

◇反対意見

①社会保障の財源確保とコロナ禍の財政出動が必要であり、このままが良い。

②消費税は個人的には少ない方が良いが、何かを実施するには必要な財源である。

③低所得者に一定の現金を定期的に支給する政策を導入すべき。

④社会保障の財源確保は他の税を下げても消費税10%は必要。

⑤引き下げは他の事業に影響が出るため現状10%が良い。

◇採決の結果 賛成1、反対4。

◇審査の結果 賛成少数で不採択すべきものと決しました。

②インボイス制度導入で事務処理経費が増大することだが詳細が不明。

③インボイス取引先から値引きなどを要求されたり、インボイス提示に応じない場合は取引停止される心配があるとのことだが、疑問。

④実施までにまだ2年あり、コロナ収束を急ぐべき。

◇採決の結果 継続審査に賛成3、反対2。

◇審査の結果 採択すべき意見も出されましたが、継続審査と決しました。

本定例会に継続審査申出書を提出いたしました。

陳情第8号

日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書の提出を求める陳情

◇賛成意見

①条約を批准し、NPT会議でも核保有国を核廃絶に導くことが大切。

②核兵器廃絶には時間がかかる。いま勇気をもって核廃絶の声を上げ、現在・未来の平和を築くことが大人の責任。

◇反対意見

①中国、北朝鮮、ロシアの脅威から自国で対抗できる手段がない。

②理想と現実を直視すべき。米国が守ってくれる今のままが良い。

③日米安保条約により核の傘のもとで守られている日本が、核兵器禁止条約を批准することは矛盾する行動であり国際的に理解されない。

④核保有国が参加していないので実効性が疑問。

⑤日本の周りを直視したとき、何も無い状態よりアメリカの傘の下が抑止力となる。

◇採決の結果 賛成1、反対4。

◇審査の結果 賛成少数で不採択すべきものと決しました。

陳情第6号

消費税の適格請求書（インボイス）保存方式導入中止を求める陳情書

◇賛成意見

①コロナ禍で大打撃を受けているときにインボイス制度はやるべきでない。

②インボイスをとらない中小事業者を苦しめる制度で必要性がない。

◇反対意見 ありませんでした。

◇継続審査

①インボイス制度で納税番号を取得した課税対象事業者は、どの程度納税義務が発生するか未定。

福祉教育常任委員会

請願審査

請願第7号

『さらなる少人数学級推進と教育予算の増額』と『義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充』を求める意見書 採択を求める請願書

◇主な意見

- ① 35人学級でも不十分であるとの趣旨に同感。
- ② 町の支援ではなく国・県が対応すべき。
- ③ GIGAスクール構想による効率化など注視していく。

◇審査の結果 全員一致で採択すべきとし、意見書を提出することに決しました。

■意見書（一部抜粋）

1. どの子にも行き届いた教育をするため、さらなる少人数学級推進と教育予算を増額し、複式学級の学級定員を引き下げる。
2. 教育の機会均等とその水準の維持向上のため、義務教育費国庫負担率を2分の1に復元する。

5月から委員会が新編成でスタートしました。

総務産業常任委員会



(左から) 瀬戸・松澤・樋口・池田・岩田・矢ヶ崎

(活動方針)

★少子高齢化・人口減少の進行や、暮らしと働き方の多様な価値観の変化を感じ取り、課題解決に向けた調査研究から定例会以外にも町長要望・提言につなげる。

(主な調査研究)

- 産業振興に関する調査研究
- 道路問題に関する調査研究
- 商工会、商店会、農業関係者他と懇談継続
- まちづくり、防災・減災に関する調査研究
- 第6次総合計画前期基本計画実施に関する調査研究



じもとイチ

福祉教育常任委員会



(左から) 舟橋・向山・山寺・津谷・吉沢・小澤

(活動方針)

★新型コロナウイルスワクチン接種を安心して進めていく事を最優先とし、その上でコロナ収束を見守りながら、福祉・教育関連について柔軟に調査研究を進めていく。

(主な調査研究)

- 委員会の要望書回答等に対する調査研究
- 辰野高校生徒会との交流・懇談の継続
- 地域包括ケアシステムの深化についての更なる調査研究
- 社協や福祉施設事業者との懇談会継続
- 高齢者の生活支援に対する調査研究



ワクチン接種



一般質問には9名の議員が登壇いたしました。それぞれ違った視点から町に問いかけています。是非各議員の内容をご覧ください。

ホテルが飛び交う自然豊かなまち

第6次総合計画の目指すものについて	池田	P9
みんなが活躍できるまち		
職員の働き方改革について	池田	P9
集落支援員活動事業について	山寺	P10
男女共同参画社会へ一歩前進を	山寺	P10
行政のデジタル化の実現に向けて	舟橋	P12
消防団・赤十字奉仕団のあり方について	向山	P12

いつまでも健やかに暮らし続けられるまち

コロナ禍への対応について	吉沢	P8
コロナワクチン接種の現状と今後	樋口	P9
コロナワクチンの接種状況について	松澤	P11

次代を担う人材が育つまち

川島小学校廃校問題について	吉沢	P8
誰一人として取り残さない教育について	樋口	P9
荒神山スポーツ公園について	池田	P9
子どもの貧困について	瀬戸	P10
若年層・定住のカギとなる保育園・小学校について	瀬戸	P10
高校再編と辰野高校存続について	瀬戸	P10
性に関する教育と支援等について	瀬戸	P10
コロナ下において町民会館等の使用状況について	松澤	P11
辰野版学用品バンク導入について	津谷	P11
中学校の教科書選定について	舟橋	P12
学校教育のあり方について	向山	P12

活力と魅力ある仕事のあるまち

武居町政4年間の総括	樋口	P9
食の革命プロジェクトについて	山寺	P10
辰野町の観光事業について	松澤	P11
農林業振興について	向山	P12

安全で快適に暮らし続けられるまち

王城山頂整備について	吉沢	P8
マイマイガ被害防除について	吉沢	P8
町道8号線歩道の改良について	山寺	P10
気象災害における防災力強化について	津谷	P11
通学路の安全について	津谷	P11
新型コロナウイルス予防策としてのマイクロバスの運行について	舟橋	P12
板沢地区への最終処分場建設計画について	向山	P12



吉沢 光雄 議員

教委の川島小廃校見解は、3年前と変わらないのか

教育長

廃校を決めた事は一度もない。これからだ。

問 川島の子どもの増加率は突出。川島小を生かした取組みの成果を、人口減少対策に生かしてほしい。教育委員会は3年前、川島小を「子どもの学びにとっても好ましい状況ではない」から廃校と見解を出した。良い学校だから残してという児童や保護者の声と真逆だが、同校に責任を負う教育委員会は、この3年間どう改善の努力をしたのか。児童・保護者や区民から意見を聞いたのか。

教育長 町長と教育委員会の方向がズレた中では、協議が進められなかった。これから地元や保護者と協議を進めていく。

問 「小中学校あり方検討委員会」の提言は、全ての学校が工夫した教育をしていて良さがあり、出来れば残したい学校だと評価している。川島区は一貫して存続を求めている。川島区地域計画は小学校を生かした地域づくりを掲げている。町はこれを尊重し支援する立場だが、廃校すれば地域計画は出来なくなる。町長が廃校を止めたのは当然で、止めなければ計画への責任が問われた話だ。区の意向や地域計画に反して廃校を進める根拠は何か。

町長 議論を深め、それぞれの学校がより良い学びの場になるよう取り組む。引続き川島地域の活性化に取り組んでいく。

問 町長が残したいとしている「何らかの学びの場」とは、何か。

町長 体験や交流の場、目的に特化した教室などが考えられる。運営には地域の理解と協力が欠かせないので地元と話し合い、方向を見出したい。

要望 統廃合優先でなく、児童や学校が抱える問題に向き合い、その改善と未来を考える、新しい「小中学校あり方検討委員会」の設置を。



川島小運動会 大玉送り

その他

マイマイガ防除、コロナ禍対策、大城山山頂整備



・全ての項目はホームページで閲覧できます。
・質問は「辰野町第六次総合計画前期基本計画」の「将来目標」の項目に沿って区分けしています。

ワクチン接種
予約時の混乱を
招いた責任は樋口 博美
議員

町長

不安にご迷惑をかけた
ことを深くお詫びします

武居町政 4 年間の総括と未来の辰野町の姿は

問 4 年間の総括は。

町長 コロナ禍ではあったが、様々な事業が始動した。移住施策、道路施策は一定の成果があった。

地域包括ケアシステムの構築に課題が残る。

問 立候補表明の先、将来の辰野町の姿は。

町長 第6次総合計画のもと、住み続けたいまちづくりを目指す。

コロナワクチン接種の現状と今後の課題は

問 接種の状況は。

町長 65 歳以上については7月末までに接種を終わらせる。

問 中学生への接種は。

課長 中学生は国の指示に従って対応する。

問 外国籍の方への対応は。

課長 案内に外国語表記は無かったが窓口で対応。今後も隔週水曜日の外国人向け窓口にて対応していく。

問 平日接種についても会場を病院から保健センターへ変更できないか。

課長 保健センターへの医師、看護師派遣は病院診療体制維持の面から困難。保健センターも平日は使用があり困難。

誰一人として取り残さない教育とは

問 3 年間存続へ向けての教育委員会は努力したのか、結論ありきの3年間か。

教育長 3 年間は教育委員会では協議しなかった。

要望 川島小学校は向こう3年間子どもが増加していく。未来に選ばれる学校・町づくりを。



枯草を集めて作った鳥の巣：川島小学校

問 不登校の子ども数は。

教育長 7 日間欠席の子どもは小学校 1 人、中学校 11 人。不登校生は無い。

問 タブレットでの遠隔授業は。

教育長 中間教室のタブレットは wi-fi 環境の整備に合わせて進める。各種アプリが入っていて、外国籍の子どもには翻訳機能も整備。タブレットの家庭への貸し出しも指示してある。

要望 日本語理解度に合わせたサポートを。

職員の働き方改革と
町民サービス向上の
基本は池田 睦雄
議員

町長

身だしなみ、挨拶や態度を
接遇研修で指導

問 武居町政の働き方改革の取り組み方針と成果は。

町長 常に相手の立場に寄り添う姿勢で明るい窓口、活気ある職場、働きやすい環境を整える。ワークライフバランスの取れた心身ともに最良の状態で仕事に臨むことが重要。

課長 働き方改革プロジェクトで令和元年度と2年度では一人当たり時間外勤務 97.8 時間が 85.7 時間と減少。時差出勤などが功を奏している。

問 職員の挨拶が働き方改革の一丁目一番地と考えるが。

町長 挨拶は重要と考えており、町民から丁寧な対応や笑顔で案内があったなどお褒めの言葉をいただいている。

第6次総合計画で選ばれる自治体となるためには

問 日本創生会議が2040年に1,718自治体のうち約半数が存続不可能としている。選ばれる自治体になることが必要では。

町長 町の価値(文化的、社会的、経済的、環境、イメージ)を見出し強みと弱みを分析し町の特色を活かす。他の市町村との比較論ではなく強みを磨き活かすことが重要。

問 ど真ん中プロジェクトへのトップコメントは。

町長 これからの若い人々や町民全てが住み続けたいと思う雰囲気外部に伝わることで移住者増加を期待する。

魅力にしたい
日本中心の展望台たつの海の利用者実態調査結果を
今後の方向付けに結びつけるべき

問 利用者実態調査結果の今後は。

課長 1 日平均約 400 人が早朝から夜遅くまで利用し賑わっている。施設管理事業者会議で意見交換し、庁内関係課と相談してすすめる。

要望 選択された重点テーマに「ひと、モノ、金、情報」をどのように集中し、活かすかを明確にしてほしい。

やまでら
山寺はる美
議員



集落支援員 設置の目的は

町長
住民と行政が協働、共創
の地域づくりを進めるため

問 昨年度比7倍の予算がついた集落支援制度の
仕事の内容は。

課長 専従の支援員2名は各区の課題を見直し、
活動計画を立て、集落単位で活動する支援員に繋げ
る。各区は早期に地区で活動する集落支援員を選任
し活動計画を実行に移す。

今後、2025年度までに全17区への配置を目
標にしている。

男女共同参画社会へ一歩前進を

問 男女共同参画社会前進のため、区のレベルか
らでいいので「クォーター制度」を導入する考えは
あるか。

課長 町から単独で数値設定は難しいが、国・県
の指標を示すことで、地域の役員は男性中心という
意識を解消し、区長会で区への女性参画の働きかけ
をしていく。

町道8号線歩道の改良は

問 町道8号線歩道、片側車線の歩道だけでも早
期の改良を。

課長 支障になるイチヨウの根の撤去作業を行っ
ている。中央保育園側の片側歩道の改良を進めている。



歩道を壊した102本のイチヨウの木

食の革命プロジェクトのこれからは

問 これからの食の革命プロジェクトの6次産業
との整合性は。

課長 プロジェクトは6次産業推進に欠かせない
施策。必要な部分は見直しをしながら進める。

提言 食の革命プロジェクトが5年間で商品化し
たシードル、あんぼ柿、えごま油等、町独自の付加
価値を付けなければ辰野ブランドにはならない。町
民の皆さんからアイデアを募集したらどうか。

せと
瀬戸純
議員



今年度の就学援助金の 受給資格所得基準額は

町長
大人2人・子ども2人家族で
所得金額360万円が基準

就学援助金の受給資格の拡充を

課長 令和2年度から支給基準としている所得基
準は、生活保護世帯所得の1.1倍とし、令和3年
度1.2倍、令和4年度1.3倍に拡充していく。

※基準1.0倍：大人2人・子ども2人で300万円位

問 所得基準額のホームページへの掲載等、町民
へわかりやすい広報・周知が必要。

課長 ホームページへの掲載を考える。外国籍児
童生徒・保護者へは支援員2人で対応する。

問 支援に結び付けるため、町独自の子どもの生
活実態調査実施を。

課長 辰野町も県・国の調査結果と同様だと考え
る。町の傾向を知ることは大切だが、町としては行
わない。

要望 「声にできない困っている、助けての声」現
状を知るために町独自の調査を。

川島小学校存続に関わる説明を児童へもすべきだ

課長 地元・保護者・子どもたちの意見を聴くの
は当たり前。行っていく。

辰野高校存続へ向けての町ぐるみの支援を

問 町全体で辰野高校を盛り上げる組織、協議会
等の立ち上げをすべきだ。

町長 学校の意向も聞き、辰野高校同窓会と共に
検討していきたい。



全国的に有名な辰高3者協議会(2020年1月)

小・中学校での性の多様性(LGBTQ)をはじめ とする性に関する学習の取り組みを

課長 性教育は現在も行っているが、今後、養護
の先生を中心に課題を含め検討して町全体での取り
組みの計画作成を行っていく。

要望 辰野町男女共同参画社会づくり推進委員会
等で「パートナーシップ制度」の早急な検討を。

コロナワクチン接種状況は

町長

県から人員派遣を受け期日までに完了する



松澤 千代子
議員

問 高齢者のコロナワクチン接種状況と今後の見通しは。

町長 辰野町のワクチン接種に携わるすべての医療従事者の皆様に、心から感謝申し上げます。

県から派遣されることになった医師や看護師の協力を得て、65才以上の接種希望者すべてが7月末までに接種完了となる見込みとなった。

課長 辰野町では、接種済の人が長野県の平均以上に達している。64才以下の住民の接種も続けて行っていく。

辰野町の観光事業を

問 蛇石付近の観光資源を一元化してPRすることが必要で、蛇石周辺一帯を同じ呼称（ネーミング）にすることが有効と考えるが。

課長 面的な表現の仕方も大切だと考えている。その広がりのある呼称にすることはわかりやすく、誘客につながるとも考える。しかし、横川溪谷の一部が国有林内にあり、有料で貸し付けられている。公園としての扱いとなると契約が変わってくる場合がある。文化財関係や河川等の横の連絡も取り、町民の皆さんも含めて、早急に協議を始めたい。



蛇石

問 本物志向（着地型観光）に対応するため地元精通した町民の知識を提供していただくような、データバンク創設の考えは。

課長 町民の豊かな知識を提供していただけるなら、データの収集はしていきたい。しかし、デジタル化となると体制づくりに費用がかかるため、難しい。観光パンフレットも刷新し、かつて町で栄えた蚕産業の石造物（蚕玉さま）も掲載したので利用してほしい。

その他

コロナ下において町民会館等の使用状況について

法改正による避難情報変更後の防災訓練の内容は

町長

風水害に絞り、家族や少人数で取り組む



津谷 彰
議員

気象災害における防災力の強化は

問 防災行政無線が聞こえないという声が町民から多く届いている。聞こえない地域に簡易無線の設置や音声ガイドシステムの導入は。

課長 簡易無線の設置は、現在のシステムでは難しい。

要望 町ホームページ上に防災・地域情報ひろばのバナーを開設し、町民が情報入手をしやすくして欲しい。

※令和3年6月からバナーが開設され、ほたるねつや防災行政無線の内容を音声ガイドにより確認できるようになった。

問 氾濫の恐れのある河川へ防災カメラの設置は。

課長 今年度中に上島中ノ橋に定点カメラと、簡易型水位計を設置する。

問 法改正により個別避難計画作成が努力義務になったが、町の考えは。また、福祉避難所の要介護者受け入れ訓練が必要では。

課長 要支援者名簿の登録者1,832人全ての作成をお願いしていく。保健福祉課と連携し、要介護受け入れ対象者を把握して、関連職員の訓練を経て進める。



改正された避難情報

通学路の安全は

問 辰野町通学路交通安全プログラムに基づいた、昨年度の合同点検の実施状況と今後の予定は。

課長 昨年度はコロナ禍の影響で実施できなかったが、各学校のPTAや地元区の協力を得て通学路の安全点検を実施していただいた。今後は、通学路安全推進会議において重点課題を設定し合同点検を実施する。

問 児童の死亡・重傷者事故を未然に防ぐための教育現場での取り組み状況は。

課長 昨年度から各学校の地区担当の先生により実際に子ども目線に立ち、歩いて通学路の点検を行っている。

現在の通学路の安全性を指摘してもらい、場合によっては通学路の変更も考えている。

その他

辰野版学用品バンクの導入を

街かど NEWS

中学生議員の 提案が実現

昨年の中学生議会での提案事項の中に「春の 530 運動を、ほたる祭り後に変更し町民の意識を高める。」というものがありません。早速今年の 530 運動は、6 月 27 日（日）に実施され、中学生の代表が早朝 6 時から広報活動の一役を担いました。広報車の中学生のアナウンスに作業する人々も振り返り、手を振ってくれる人も。

中学生からは「貴重な経験をさせてもらい、緊張しました。」と感想が寄せられました。



おうちでほたる祭り

辰野町のじもとイチ!

6 月 1 1 日のイベントから 1 3 日までの「じもとイチ」に辰野高校商業科の生徒が参加し、各店舗を 1 ~ 2 名の生徒がサポートをしました。

テーマカラーの設定、のぼり・パネルの作製、会場作り等、販売促進のアイデアを出しながら、学習をしました。



人出はコロナ禍の時季これが精いっぱいなくらい賑やかで、昼の部もいいなあと思いました。浴衣や甚平姿の子どももいて、楽しむことができました。



幼い頃から、ほたる祭りで夏が来ると思っていたので、どんな形でも実施されたのは嬉しかったです。



ピンクのキラキラボールペンももらったよ。来年は金魚すくいもしたいし、綿あめもほしいなあ。

今回は、**コロナが収束したら何をしたいですか**と伺いました。

宮島 博明さん(宮木)



コロナ禍で一番心を痛めたのは、結婚披露宴を中止せざるを得なかった姪の心境だった。一刻も早く鎮静化して姪夫妻の心が晴れることを願っている。また来年の御柱祭も無事にできることを希望している。議会だよりはとても読みやすくなったので楽しみにしている。

お弔いもまともにできないコロナは本当に恐ろしい。その中で学んだことは、顔を見て話すことの大切さや、気楽なおしゃべりのありがたさだった。女性が率先して活動できる町づくりをしてほしい。



高橋 春美さん(樋口)

ワクチンの予約は高齢者に優しいシステムにしてほしい。98歳の今年にはひ孫が8人になるため、孫やひ孫に会いたいと思っている。(千早さん)

赤十字の防災啓発活動をしているが、なかなかできない状況が続いているため、コロナの収束を願っている。議会への希望として、辰野の自然を守ることを念頭において欲しいと思う。(美紀子さん)



有賀千早・美紀子さん(上野)

コロナが落ち着いてきたら、関西出身の妻に里帰りをさせてやりたい。また議会や行政への希望は、リモートで仕事ができることや印鑑無し書類が成立したことを絶好のチャンスと捉えて、手続きなどを簡素化してほしい。デジタル化は早急に進めるべきだと考える。



小野 俊行さん(小野)



次回定例会のご案内

－ 9月定例会予定 －

- 開 会 9/1(水)
- 一般質問 9/8(水)・9(木)
- 委員会審査 9/10(金)・13(月)・14(火)
- 閉 会 9/17(金)

※確定した日程は新聞等でご確認ください

編集後記

今月号から編集委員がかわりました。議会の様子を分かりやすくお届けしたいと思います。ご意見ご要望をお聞かせください。身近な議会であるよう皆さまの声に耳を傾けて参ります。よろしくお願いいたします。

広報編集委員長 樋口博美 副委員長 吉沢光雄
委員 松澤千代子、山寺はる美、池田睦雄、向山光

皆様からのご意見・ご要望お待ちしております。お気軽に議会事務局までお寄せください。